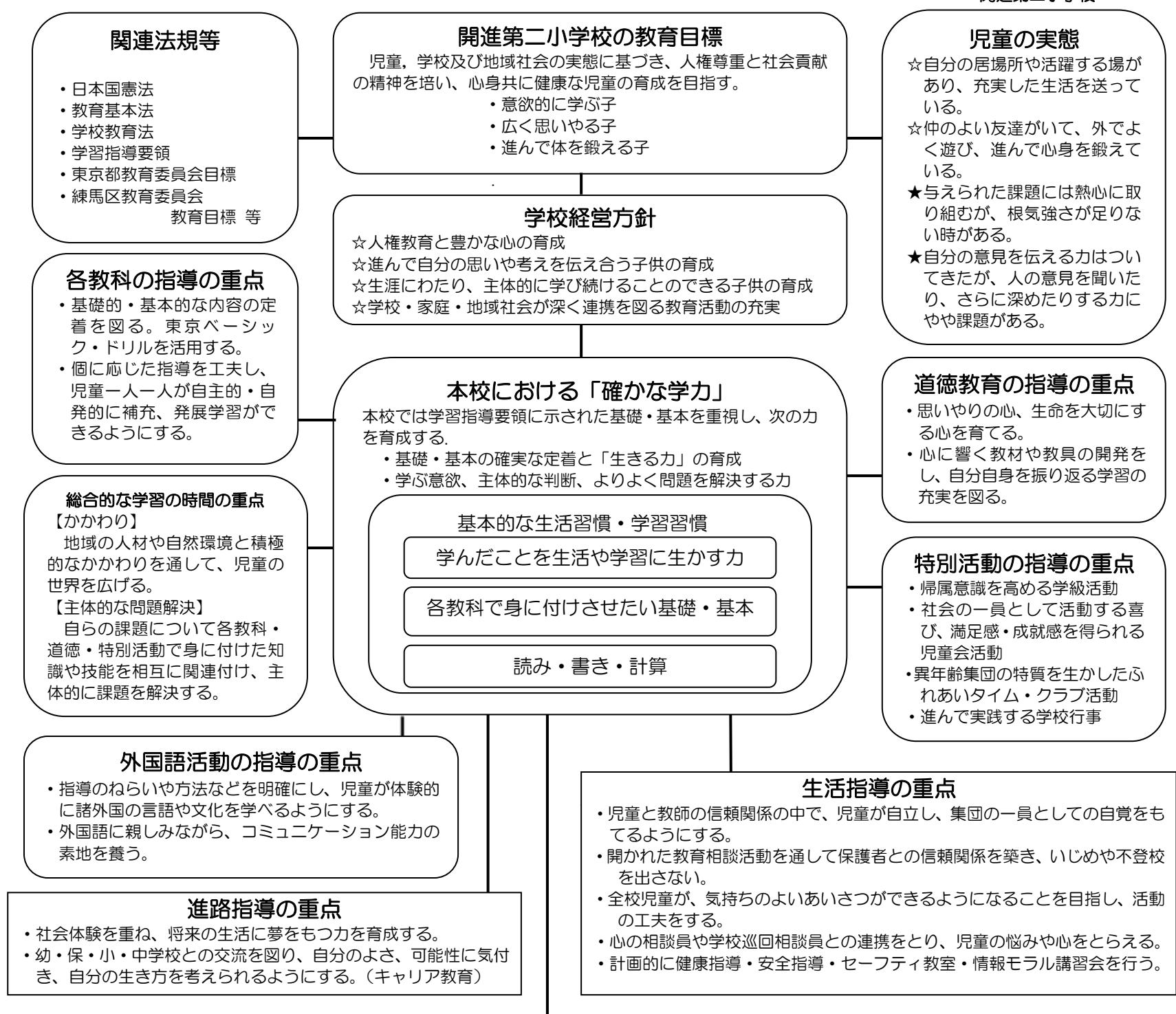


開進第二小学校



授業改善に向けた視点	指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいや指導の流れが分かる板書やノート指導に心がけ、自学の基礎を培う。 ・児童の興味・関心を喚起する教材の工夫や体験を通し、学習意欲を高める指導を工夫する。 ・算数では、全学年、習熟度別少人数グループを編成して、きめ細かな指導を行う。 	<p>個に応じた学習指導を充実させるため、ゆとりある授業時間数を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○始業前を活用 <ul style="list-style-type: none"> ・月曜 朝会 ・火曜 クラスタイム ・水曜 運動集会 ・木曜 朝読書 ・金曜 児童集会 音楽集会 ○休み時間を活用 <ul style="list-style-type: none"> ・火曜昼休み 心れあいタイム (異学年集団で活動) ・木曜中休み 楽間運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究では、「広く思いやる子の育成」とし、「特別の教科 道徳」の先行実施を通して研究を行う。研究の成果を研究紀要にまとめる。 ・児童指導、情報教育、人権教育、外国语活動等についての全体研修を行う。 ・OJT 委員会が企画立案し、教員が身に付けるべき力についてバランスよく研修する。
	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の評価規準を作成し、活用する。 ・単元ごとのテストの結果を一覧表にして、習熟度の傾向を知る。 ・保護者・地域の方・児童の声を生かす多面的な学校評価を実施し、活用する。 ・長期休業中に中間評定について、学年間、専科教諭と話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域の教育力を生かした教育活動を推進する。特に復習の推進を図るために、保護者に説明し協力をしていただく。 ・緑化指導員を活用し、栽培体験活動を行う。 ・学校評議員による学校運営への参加・ホームページによる情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開進第三中、開進第三小と本校で社会生活に活かせる言語表現ができるように小中一貫教育を推進していく。 ・授業公開を通し、各学校の指導、児童生徒の学習、集会などの取り組みを交流していく。 ・課題改善カリキュラムを活用し、あいさつ運動など、三校共通の取り組みを図る。